

全国中学校
水泳競技大会

2連覇達成!

総合優勝を決めた
400m
メドレーリレーは、
感動を呼ぶ劇的なレース。

背泳ぎの選手が水しぶきをあげて
プールに飛び込み、「Take your mark...」
の合図で、セットポジションへ。静寂を
切り裂くホイッスルと同時に、400
メートルメドレーリレーがスタートし
ました。愛知淑徳中学校水泳部が挑ん
だ第53回全国中学校水泳競技大会の
決勝。8月23日(金)、静岡県立水泳場で
顧問の先生方や保護者の方々、そして
部員たちが勝利を信じ、声の限り声援
を送り続けました。

スロースタートとなった愛知淑徳。
しかし、勝利への強いこだわりや代表選
手としての責任感を変えて懸命に
泳ぎきり、順位を押し上げました。仲間
の思いを一身に受けたアンカーの斉尾
有彩さんは、50メートルのターンを終え
た時点で3位。トップとの差はほんの僅
か、残り30秒足らずですべてが決まり
ます。コンマ1秒を争う戦い。ラスト25



愛知淑徳中学校水泳部が、昨年に続き、
全国中学校水泳競技大会総合優勝を
成し遂げました。

水泳部の活躍を称え、
喜び・感動をみんなで
分かち合いました。

全国大会2連覇という偉業を成し遂げ
た愛知淑徳中学校水泳部。大正11年の創
立以来、今日まで輝かしい実績を積み重
ね、4人のオリンピック選手を輩出するほ
どの強豪校として成長してきました。元
部員たちは「志ぶき会」というOG会を結
成し、今なお愛知淑徳水泳部を支えてい
ます。そのOGたちをはじめ、学校関係者
や保護者の方々、さらに愛知水泳連盟の
方々が集まり、愛知淑徳中学校水泳部
の健闘を称える祝賀会が10月30日(水)、
メルパルク名古屋で開催されました。

たくさんの祝福を受け、部長の斉尾
さんが挨拶。「2連覇できたのは、先生
や支えてくれた仲間のお陰です」と感
謝の気持ちを伝え、「これからも見る人
が感動できる水泳をめざします」と力
強く宣言。きっと今後も愛知淑徳水泳
部の伝統とその活動を通して培われる
淑徳魂を受け継ぎ、全国を舞台上に活躍
し続けることでしょう。

歴代の部員たちが
築いた実績や伝統に誇りを持ち、
高みをめざし続けています。

愛知淑徳学園 水泳部の歩み

学園が創立された明治時代から、運動を奨励してきた愛知淑徳。戦前・戦後そして、今日に至るまで活躍し続けている数多くの運動部において、ひときわ輝きを放っているのが、水泳部です。今回の2連覇の礎にある、愛知淑徳学園水泳部の歩みを紹介します。

91年の歴史

大正11年(1922年)夏、知多郡鬼崎村(現・常滑市)にて行われた1週間の水泳練習。それが、愛知淑徳学園水泳部の始まりでした。そして、愛知淑徳の名を全国に知らしめたのが、大正15年の全国大会。背泳ぎで日本新記録を打ち立てました。

中部高校10勝

昭和38年(1963年)、中部高等学校選手権水上競技大会において通算10勝という快挙を成し遂げました。前年に惜しくも連勝を逃したものの、悔しさを力に変えて日々の練習に打ち込んだ部員たちは、念願の勝利を掴みました。

オリンピック出場4人、6回出場

メルボルン、ローマ、メキシコ、ロサンゼルス、ソウル。オリンピックという世界最高のスポーツの祭典に、これまで4人の部員が出場しました。そのほかの国際大会にも数多く出場し、自分たちの泳ぎで世界に羽ばたいています。

志ぶき会会員382人

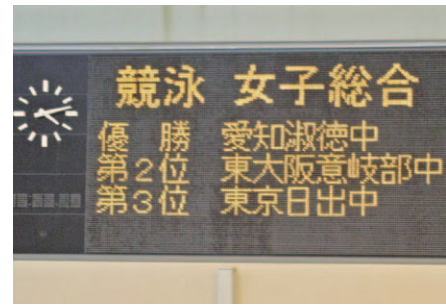
昭和29年(1954年)、部誌「志ぶき」が創刊され、翌年の昭和30年には水泳部卒業生の会「志ぶき会」が発足。昭和39年から昭和60年までは志ぶき会主催の水泳教室が開かれ、優秀な水泳選手の育成に貢献しました。2014年現在、志ぶき会会員数は382人。

部員一人ひとりの 可能性は∞

「人に信頼されるようにするよう／
絶えまない練習／真面目に朗らかに／
ファイトと工夫」をモットーとする水泳部。
部員一人ひとりが、くじけず頑張る「淑徳魂」を発揮して、次代へとその熱を伝え続けています。



メートル付近で、ようやく愛知淑徳は2位に浮上。ゴールが近づき、試合は残り5メートル。1位と2位が横一線に並び、先にゴールタッチをしたのは斉尾さんの手。2位とはわずか2秒差という大接戦のレースでした。勝利を掴んだ瞬間、「やったー!」と全員で歓声を上げて抱き合い、喜びの涙を流しました。



感謝の気持ちと力を力に変え、
部の伝統を受け継ぎます。

「2連覇という大きな目標を胸に、日々の練習に全力で励んだ1年間でした。大勝負の瞬間、120%の力を発揮できたのは、先生や仲間、先輩方、保護者の方々への応援があったからです。全員で勝ち取った総合優勝2連覇だと感謝しています。今後、高い目標を持ち、愛知淑徳学園水泳部の伝統を引き継いでいきます。」



中学校水泳部部長 中学校3年生
斉尾 有彩さん

勝利の先を見据え、
人間的にも成長していこう!

自分はチームにどう貢献できるか? その部員全員が考え、全国大会に挑みました。全員で2連覇を果たすという信念が力となり、感動的なレースを生んだのでしょう。水泳を通して学ぶ協調性、培われる行動力や精神力は、一生の宝。勝利の先、努力の先にある人間的な成長を見据え、向上し続けてほしいと期待しています。



水泳部 顧問
八神 慎介先生